



刊夕 日一十月八

### 公定價格を尻目に 木炭の暴騰と飢饉

#### 各家庭に小賣商悲鳴を上げる 一車五十圓高の暗取引

濱通り木炭の生産は官民を擧げて増産に努力し原木資源には國有林の拂下げに營林署の親切な取扱ひがあり部落單位の製炭組合設立獎勵によつて石城郡の如き三坂村外十ヶ村に卅二組合九百四十名の組合員が出来て今八月下旬から國有林の製炭開始を豫定されてゐるが時局的影響で深刻な努力不足に資材に伴ふ夫役が集らず其の對照策として縣木炭検査所及び木炭同業組合は共同作業の實行を奨め伐採から製炭、荷造り運搬に至るまで適材適所による努力の無駄な節を指導獎勵されてゐるが一方木炭の需要は化學工業に使

### 稀代の時局詐欺漢 人夫周旋の名で四千圓

去七月十七日大沼郡西川村宮の下請負業岡村清五郎を石城郡湯本町に誘ひ出し人夫四十名を登日赤井驛から立てると稱し乗込金三百八十圓を詐取した時局利用の周旋詐欺犯を所轄平野署が岩手縣西井郡油島村生れ前科二犯川島一喜三心であるを突止め各署に指名手配中のところ同月廿八日猪苗代署に捕はれ身柄を護送平野署の取調中であつたが同人は

#### 支那單語

洋品店のことばは洋貨舖でヤンホブー、寫眞屋を照相館と書いてチアオシヤン、コソコソ宿屋のことを客店と云ふ、合コーティエン、飯店の時はフアンティエン、旅館ならユニコアンとなつて新聞に報導されたことから消息が判り兩人の間に

### 國債消化の懇談會 来る十五日マルトモで

平局では支那事變國債第一回の賣出し以來引續いて好消化を上げ東北六縣下に於て毎回第三位を占めてゐるが来る二十一日から九月一日まで賣捌かれる第十回の國債は、割引十四、二十四の二券、利付二十五圓、五十圓、百圓、五百圓、千圓の各券でこの消化を一層強化の要あるに對し来る十五日午後六時から市内マルトモホールに地方有志の集會を求め右に關して銑後の赤誠を仰ぐべし諸士の意見を賜ふ懇談會を開催する

### 滿支の視察から (41)

#### 七月二十日雨後

兵隊さんを慰問するにも部隊所在を知るに由なく斷念、同宿の詰みで知り合ひになつた大阪の建築請負業者加藤氏と洋車で市内見學、大きな建物は見事に破壊され其儘になつてゐる。中山東路の繁華街も見たが、未だ股賑と云ふまでにはなつてゐない様だ、特に眼につくのは掘立小屋式のものが目抜き通りに見えるのは濟南等とは違つて居る、裏街の汚ない通りを抜けて光華門を

### 譽の白櫻應召

平市搔搔小路堀江工業會社々

### 伍長判事歸還す

平區裁判所判事田中宗雄氏は、重傷兵伍長として中支戦線に活躍中であつたが此の程歸還した

### 百圓國防献金

石城郡植田町の本町下山田喜一君は應召即日歸郷で受けた、百圓金百圓を國防献金した

### 土行列車で死

石城郡湯本町の土八谷庄作(二)は昨日同日地傾城下トンネル内に於て修理作業中の午前八時頃暴進して来た下り列車にはね飛ばされて即死す

### 同居人を荒す

小名濱町元町松原新八方同居同日日業工場職工大高徳一君半島人金徳用(三)は去二日夜他から賊入りたる如く装ひ同居人齊藤庄之助所有柳行李一個(オーパー、洋服衣類の外百五十圓郵便貯金通帳及び現金八十圓)を窃取した有力な被疑で引致取調の結果遂に一切の泥を吐く

### 甲種臨海便り

八月九日(火)晴午後雷雨海へ来た時少し肌かしの程白かつた身体も昨日今日はずつかり日焼けして如何にも丈夫さうにやつて来た。けれども、二番困るのはお風呂です。ヒリヒリとしてみても、肩まですむことが出来ず水を澤山

### 稅務協會總會

石城郡稅務協會では明日十二日午前九時から小名濱小学校講堂に總會を開き永年勤続市町

ある、參拜と云ふより見るに云ふ氣分しか出来ない、日本の神社佛閣に見る森嚴の氣はない。孫文は日本の援助に依つて革命に成功したのである、孫文の意圖する處は日本を盟主とする大亞細亞主義である、今此處に眼を孫文は、容共抗日イギリスの走狗となつて長期刊日を續けてゐる子分の蔣介石の狂へる道りに對し、怒り且つ悲しんでゐる事である。城内に維新政府や元の南京政府の重要建物等を見物、午後三時上海行急行に乗る沿道の風物みな國破れて山河ありの感深し。車窓から見る水田、クリークの多い

です、明日の朝私達も見物に行きます。其の中に雷が鳴り雨が降つて来たので午後八時の僕達は本を讀んだり、遊んだり騒いだりして過した三時頃雨の時間午後の運動ボールを持って海へ行つたけれど又雨に降りこめられ無料脱衣所に日歸りの人達と降り込められて容易に歸れませんでした。

事務家諸兄に  
ムツリニペン  
を奨む  
國産品に斯んなよきペンがあるのは喜ばしいことです  
錆びなき書きよき耐  
ちよよ、三拍子揃つた  
ペンです、

文魁文堂  
電話313番

御誂ひも既知の品も  
高島屋本店  
電話三三三番

軍部と密接なる關係のもとに、金融機關の大任に當つて軍部より特殊の特遇を受けてゐると云ふ。十二年八月八日大山事件發生以來、十三日戦團開始から三ヶ月間の範城の情況、四ヶ年以來的上海金融狀況の變遷等得難い話を聞くを得た。神谷氏は一ノノとしてゐた話も酒も、食物も満喫して宿に歸つたのは午前一時半頃であつた、宿は堂々たる七階建てで安、昨日に變る今日に王者の生活の様である。長途の旅行者にとつて宿は無二の安息所である、此意味に於て今日の宿は十分無二の安息所たり得る所である。

# 産業方面

## 民間の要望に

### 國有林の増伐

(中) 牧野供用地の擴張にも乗り出す

従來の二割から四割増を目標としてゐるがこの伐採は、いづれも間伐材を活用するもので國有林としての主伐量に變化を來たさないやう周到な考慮をめぐらすことになつてゐる、しかしこれが拂下げに當つては特賣(競賣)に非ざる個人への賣却)の限度が一〇千圓以下となつてゐるので省令を改正し特賣額の制限を高めしかもその口錢をなるべく増加するやうに制定し八月早々實施に移す豫定で製炭業者にとつて大きな福音である、また數十萬石の山毛櫨(ぶな)材を拂下げこれを人絹パルプの製造用とさせる計畫で十二月頃から着手するがわが國としては山毛櫨材を人絹パルプに活用することは會てなかつたこと、各方面から注目をあつめてゐる。

△また牧野の擴張(八月中に調査)は事變を契機としてわが國の馬政計畫に大きな變革を來たし従來の輕種中心から中間種中心となり一部は重種も採用されることになり且つ内地保有馬數の維持上産駒の増加が刻下の急務となつたのでこれに順應すべく牧野を改善する一方その面積を増加する必要にせまられ目下係官が全國各地に出張し牧野供用適地の調査中であるが來月中には具體的な調査がまとまる見込みである。

## 暑中御伺

石城郡山田村

# あふまきよ子

## 平市銀行組合

磐城山萬靈廟 田久彌七  
(磐城東線小川郷驛)

和洋銅鐵 金物問屋 金屋商店  
電話九・九九番

堀江工業株式會社  
社長 堀江新太郎  
平市孫植小路 電話五一番

## 平電氣株式會社

平看護婦會  
會長 清野キヨ子  
平市南町電話七〇三番

木炭移出問屋  
草野米彌商店  
磐城東線小川郷驛

スペイン GHN 元詰

## ゴルフポートワイン

甘味葡萄酒

御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です

(平二) 西村屋藥舗 (電三)

## 肉の御用命は

# 三三三屋

牛も豚も優良品の自慢

# お醤油は ヤマフル

醤油、味噌、  
たひら正宗、  
鱈節食料品

山崎合名會社  
電話本部二七〇番  
山崎與三郎

明治生命磐城代理店  
電話本部二七〇番

産科婦人科 院長 木村寅次郎  
外科 醫學博士 内木宗八  
藥局 藥劑師 大岩俊雄

## 木村病院

入院隨意  
病室完備  
平市新川町九一 電話一六四番

## 専門 皮膚泌尿科

診療時間 午前八時より  
午後九時まで

## 江尻醫院

醫學博士 江尻伊三郎  
平市田町 電話六九二番

## 根本婦人科醫院

平市南町  
根本莊次郎  
根本貞雄  
電話三四番  
(入院隨時)

## 内科、小兒科

# 大森醫院

醫學士 大森勇  
平市南町 電話三五八番  
入院 應需

## 診療科目

- 一、齒科一般  
保存科、補綴科、綴綴架工科、  
齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、
- 一、口腔外科
- 一、レントゲン科

## 中野齒科醫院

院長 日本齒科醫學士 中野慈次  
主任 日本醫學士 佐藤重義  
電話五〇九番

## 涼味そゝる

夏物洋品愈々進出

スマートなカンカン帽子  
可愛らしい…お子様帽子  
婦人・子供清涼着  
その他色々陳列

つるや 平電 140

## 債券、公債 多田井質店

平市大工町 電話五九一番